

'01

第九

のべおか第九だより（第290号）
2001年9月22日（日）

発行 のべおか「第九」を歌う会
事務局（延岡総合文化センター内）
882-0852 延岡市東浜砂町611番地2
電話 (0982) 2 2 - 1 8 5 5

今日の練習	前回の練習	会員数	出席数	出席率	自己採点
Bのおさらい。 Cの雰囲気 - A (237～330小節) p.9～17 B (411～654小節) p.20～33 C (655～762小節) p.34～43 - D (795～920小節) p.46～58 12月8日まであと77日	ソプラノ	38人	26人	68.4%	62.8点
	アルト	73人	46人	63.1%	61.5点
	テノール	24人	15人	62.5%	57.9点
	バス	27人	18人	66.6%	57.0点
	合計	162人	105人	65.8%	60.5点

先日の直接指導から...



@長井先生の指導（9月16日）

その付近の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
その部分の注意... 総合・ソプラノ・アルト・テノール・バス
...お話

（ほかのパートの注意でも関連があります。全部読んでください。）

237 【お話し】いつも立って練習してるの？じゃ、張り切ってやりましょう。この大ホールで練習するとき、こちら側（客席）にお座りになったってことはない？全半こっち（客席）しましょうか。後半、舞台上で。

.....（後半舞台上にのぼって）いろんなことを見聞きしたこと、経験したこと、それが頭に入ってきますね。それから忘れてしまったこと、それを引き算する...残ったのが教養なんだそうです。マイナスになってないかな（笑）？残り少ない（笑）？



238 【Freu-de!】最初、みなさん、歌詞を喋ってみてください。...その比率で“Freu-de!”。...うちの学生も何十回となくこの練習をするんです。でも当日、NHKホールで“フロイデ～”と言ってしまふんです。（“de”が強く言ってしまう）“Freu-”の語幹と“-de!”の語尾が五分五分になってしまうんです。みなさんは是非、“6:4”か“7:3”に。

.....今、皆さんの顔、怒ってらっしゃるの（笑）。声は力強いんだけど顔が怒ってるんです。怒らないように。

.....あのね、ソリストの“Freu-de!”を聞かないように。聞いて準備すると遅いんですよ。だから

見込み発車で“Freu-de!”。かなりね。“フロ...”っていう前に来る巻き舌はソリストを聞いてしまったら遅い。

.....喜び！ 歓喜！。ホール隅から隅まで喜びが伝わるように。

257 【Dei-ne Zau-ber ~】 みなさん、ちょっと刻みすぎるね。おそらくソリストの方がレガートに歌いますから、みなさんがそうやって歌うと違和感がある。共演しているソリストが「なんで後ろはポツポツ切って...」と思うかもしれない。

257 【Dei-ne Zau-ber】 “ダイネ”。“ダイネ~”じゃなくて。“ネ”の音をもうちょっと遠慮して。“Zau-ber”はとってもいいです。魔力という意味。



259 【was die Mo-de】 本当は日本語にもあるんだけど、外国語には開口母音というのと閉口母音というのがあります。たとえば日本語だと“そ”。味の素の“そ”。それから“「ああそお~」”という返事のときの“そお”。これらが同じ明るさしていますか？“そお”のほうが暗くないですか？長いから。でも“そ”って言うときに暗いと意識しませんよね。だと、ここの“Mo-de”の“o-”というのが皆さんだらしない。“Mo-de”、“時流”。もうちょっと絞り込んで。

260 【streng ge-teilt; al-】 今は“streng ge-teilt;”が“...タイトル”に聞こえてますけど。これは第九を歌う上で永久に課題だと思います。...だって“t”を言ったら、息ずってその次“al-”って出られないよ（笑）って、なんでここに“-teilt;”が出てくるのかはわからないんだけど（笑）。...午前中、発声講座を受けていただいた方、こういうこそ無意識的なプレス。“lt;”を言い切つて、プレスを瞬間にして、“al-”が出てるはずなんです。そのスピーディーさ、反射神経ね。その訓練をここはしてほしい。



262 【wer-den Brü-der, ~】 一番大事なのは“Brü-der, ”。あるお方が“人類みな兄弟”とおっしゃった。ここで出てくる“兄弟”はキリストの傘下にいるあなたたいはみな兄弟だよということ。ここが一番大事だから前後そのように歌ってください。今どう聞こえるかという“wer-den”が強く聞こえる。なぜかと言うと、“wer-den”が一番高い音だから。

.....そんな刹那的（“Brü-der, ”だけ強く）歌っちゃだめ。そこに持っていかなきゃ。

.....目下、全然僕に“Brü-der, ”が伝わらない。僕と皆さんの距離で伝わらないんだから、あっち（客席）に伝わるはずがない。

264 【Flü-gel weilt.】 “weilt.”（最後の切り方）。語尾の子音というのは日本語にはあまりないでしょ。イタリア語とかラテン語とか、ミサを歌ってらっしゃる方もたくさんおられるでしょうが、これらはあまり語尾がないんだけど、ドイツ語はやたら子音が多いんですよ。なじみの薄い語尾の

子音を発音しなければいけない。... “It” は相当言わないと、無声音ですから余程語尾を言ってください。



285 【Ja, ~】 僕が最初に来たときなどは、開口母音・閉口母音ですごく“e”を“イー（エに近い）”をお願いしたんだけど、送っていただくテープを何年聴いてもなおってません。だからこれはあきらめました。のべおか第九は“エ”の音を閉口母音にするのはダメ！そういう伝統ができたから。もう一旦おぼえちゃったことはね、なかなか直らない。僕は一昨年ぐらいまでは言い続けたけど直らない。その時はできているんです。僕がいる2時間の間はできているんだけど、12月のテープを送っていただくと全然だめです。だけど、みなさんが矛盾していることだけは指摘しておくね。“See-le”（286）なんでここは“ジール”って言うの？“ゼール”じゃないですか？みなさんのやり方だと。どうしてここだけ“ジール”っていうの？おかしいよね。“ee”でしょ。“Wer”を“ベル”って“エ”って言ってるじゃないですか。その先“steh-le”（290）なんでも“シュティーレ”、“イ”なんですか？すごく皆さんは気まぐれなの。ある時は“イ”と言ってある時は“エ”と言って...このことだけは申し上げておきます。統一されていないの。僕は長母音は“エ”と書いて数年間言い続けてお願いしたんだけど、とっても気が向いたときだけ“エ”??。心あるみなさん、僕の皮肉を感じた方はちゃんと読んでみてください。...もう1か所だけ。“der”（290）“デール”そのように読んだり歌ったりしてほしい。そこdecresc.がかかっていますよね。その最中だけでも“der”だけはちゃんと浮いて歌ってください。

285 【Ja,】 まず頭の“Ja,” 僕の手合図で1音だけ出てください。もっとどっしり!“そのとおりだ!”という意味ですから。どこか突き刺すようにね。

289 【_wer's nie ge-】 “nie”の音をもうちょっと主張して。日本人は拒絶をすることがヘタですよ。ところが外国の人ははっきりと拒絶をします。イヤなものはイヤ、ダメなものはダメ。この“nie”の否定の仕方は一番最上級なんです。“決して...ない!”というもの。そのためには“n”をいっぱい言ってほしいんです。



313 【Küs-se gap sie】 「おらぁ30年以上、第九やってるよ！」とか言っても怪しいんですよ、ここは。一度変に癖がついていたら、なかなかここは...。ひょっとしたらここはなんとなく曖昧にいつも過ごしてる部分かもしれない。そういう意味でテノールさん、ここを歌ってみて。.....みんなが4拍目がなくなっている。みんなが出しづらいうところを、みんなでいなくなっている（笑）。難しいでしょ、ここ。...はい、アカペラで歌えるかどうか。本当にご自分がちゃんと音ごとれて毎年歌ってらっしゃるのか。...堀田さん、それ音も残るんだっけ？後でそれ聴いてみてください。悲惨なものがある（笑）。.....みんなね、大事な音のところを間引いてらっしゃる。8分音符があるでしょ、その8分音符の2

つ目の音がみんな抜けてしまっている。頭の音しか歌っていない。特に“Wurm ge-ge-ben,” (318)のところ。一番そこが問題点です。イヤな音はみんな抜いてらっしゃる。……糸井先生、ねえ、3度かなにか下げた譜面を作っておいて、そして上げて行って元に戻して。今の高さで何度やっても正しい音が把握できないでしょう。おそらくここで30分以上お時間いただかないといい音にならないと思うんだ。

……(ソプラノパートとテノールパートをピアノで弾いて)こうやってハモってるところばかりなんです。ところが音がズレちゃってるから、すごく濁っちゃって聞こえてるんです。

- 313 【Küs-se gap sie】頭の“Küs-se”。ちょっと伸ばして発音して。伸ばしている間にほとんど“ウ”になっていませんか？“セ”に入る瞬間はほとんど“ウ”になっている。言い始めたらそれを保つの。
- 313 【お話し】うちの合唱団は毎年220人でNHK交響楽団と契約しているんですけども、このご時世ですから学生の数がどんどん減っています。それこそ佐藤しのぶさんが在学中には220人ぐらい在校生がいたんです。今は160人ぐらいです。60人足りないんですよ。だからほかの学年とか卒業生とか大学院生とかをかき集めるんです。…で、10月の18,19日でオーディションをやるんです。ただ「私、歌いたい…」じゃダメなんです。テノールさん、この場所を歌わせるんです。ここがちゃんと歌えるように。特に318小節あたりがうまく歌えているかどうか。卒業生もオーディションを受けていいんですよ。歌えますか？オーディションがあったら(笑)。
- 318 【Wurm ge-ge-ben,】なかには“ゲギーベン”っておっしゃってる方がおられるけども、“ゲゲーベン”が断然多かった。(前者が正解)
- 319 【und der Che-rub】アルトとソプラノの方、“Che-”のところにsfがついていることに注目して。“Che-rub”(天使)ね。神の前に立っている天使。



- 320 【steht vor Gott, ~】ここも言っておきますね。“steht”(320)“シュティート”って言いましたね。“イー”は“i”ですか？“e”ですか？“e”ですね。“e”だけでも“イー”って言いましたね。その前は？“Che-rub”それは“ケー”って言いましたね。みなさんは矛盾してらっしゃるんです。“シュティート”というならば、その前は“ケー…”なんです。長い発音だから。“シュテート”でもいいんですけど、なぜ“シュティート”って歌うかという、長い発音だからなんです。これが短母音だったら“シュテット”なんです。長母音だから“シュティート”となるんです。“Che-rub”も短母音だったら“ケルブ”でいいんですよ。長い音だから“ケールブ”。だけどのべおか第九のみなさんは伝統で“ケールブ、シュティート…”となっている。これは矛盾しているんです。“ケールブ、シュティート…”と同じ発音をしてほしいんです。なまってほしいんです。ここは“Che-rub”を強調しなきゃいけないととっても目立つ場所だから“エー”って開けないで“イー”と発音してほしい。……あとは(みなさんがおかしいのは)長母音といえども“レーベン”だし“ケールブ”だし。
- 324 【Gott, steht_】アルトだけリズムが違いますよね。
- 324 【Gott,】アルト以外のほかのパートのみなさん、“tt”をはっきり。アルトの“ste…”にごまかされちゃって“tt”が言い切れていないようです。
- 330 【Gott,】ソプラノさん、キバらないでね。“ゴー”って節約しといて“オット!”。なんか障子

の影から“バツ！”って出てきたみたいだ（笑）。

330 【Gott.】 指揮者がいよいよ切るぞという仕草をし始めたときに、減衰しないようにね。皆さんが値踏みをしないうに。最後の最後まで充実しているようにね。

.....指揮者が切る瞬間に、もう1度“ott”を意識するんです。“ゴーオット”

330 【お話し】あのね、ここでたったひとつ減衰する楽器、decresc.するのがあるんです。最後まで皆さんはffでやりますよ。オーケストラも“カーツ”ってやってますよね。でもある楽器だけが減衰。それはティンパニーです。ティンパニーがもしも最後までffだったらね、“...ドテン！”って残るはずなんです。そんなものいつも聞こえないでしょ。ここはdecresc.でいなくなってくれているんです。そのほかは全部ffで出してください。みなさんはティンパニーといっしょにならないように。

.....練習のやり方で、たとえばね、“Freu-de schö-ner Göt-ter-fun-ken”なんてのは何回やってもきつと得意にお歌いになってると思う。でもさっきテノールに指摘したみたいな部分、これひよっとしたら避けて通ってるのかもしれない。こういう所を避けて通らないで。その間、ほかのパートが遊ぶことになっちゃうかもしれないけど、12月に良い音を出すために苦い所をぜひ克服していただきたい。



411 【Lau-fet,】 “La...”これが遅い。これは前にも言ったことがあると思うんですけど、ステージ人間は、テーブルはさんで喫茶店で前の人に意志を伝えているんじゃないで、この（大ホール）の広さであっちの人にも“La...”を伝えなくてはいけない。そのとき今のようにだと同じじゃないんです。ディフォルメするということがありますよね、ちょっと大げさにより強調する。僕が堀田さんに“ラ...”って言うならいいんですよ。あの隅っこの、おそらく立ち見が出るぐらいはいるんですか？お客が（笑）消防法にひっかかるぐらい。そこに聞こえるぐらい言ってみてください。“ウッラ！”。その要領で“Lau-fet,”。ここはソリストが歌っている途中に出るから、なかなか今のような勇気が出ないところです。でも思い切って。

419 【wie ein ~】 休符が細かく付いているところ（419）と付いていない所（427）、この区別をしましょう。



431 【--gen!】 “勝利”（“-gen!”が弱い）。そのときね、日本語的に“ゲン”じゃないです。“ゲエン”。縦に全開。

.....語尾の“-gen!”までしっかりね。鯛焼きのしっぽまでアンコが詰まっている感じ。

.....“ゲ~エン”って長くしちゃダメ。

543 【Freu-de, ~】 この歌い方、本番の指揮者がいろいろいらっしゃるけれど、どうおっしゃって

ますか？違う？というのはね、“Freu de schö ner”と（切るように）おっしゃるか“Freu-de schö ner”とできるだけ続けなさいとおっしゃるか？続けるほうが多い。僕は賛成。ドイツ人の指揮者でひとつひとつ切る指揮者はいない。ところがみなさんの譜面はどうなってるのかな。何故かと言うと、弦楽器は“ジャ、ジャ、ジャ...”と弾いているんですよ。“ジャアジャアジャア...”とは弾いていない。そこに低音も刻んでいる。それ（オーケストラ）を皆さんが聴きすぎちゃうと“Freu de schö ner”ってなっちゃうんです。みなさんの音符は切れて書いてありますか？書いてないでしょ。伴奏の右手は休符がはいっていますよね。伴奏というのはオーケストラですよ。みなさんには休符がありません。だから音楽がいっしょにならないように。ただし、コツがあるのね。なめらかに歌うと...ここ、こんなに怠惰な歌じゃないですよ。どうしらいいかと言うと、1音1音立てながら底辺をつなげているんです。

.....それからffの場所、“al--le Men-schen”（566）（582）。今は最初からありっただけでしょ。“al--le Men-schen”からもう1ランク、ヒートアップなさってらっしゃいますか？
.....最初はfがひとつ、そしてff。

544 【schö-ner】 “シェ～ネル ゲェッテル”って聞こえる。“ö”。

549 【ly-si-】 “ly”は“ü”と同じです。

570 【Brü-der,】 ここを最大にもってきたいんです。一番最高潮です。（586）。ここを最高潮にするのは生理的にとても難しいんです。生理的には（この直前の）“wer-gen”を強く歌いたがるんです。

575 【Dei-ne】 ここにはfと書くべき。フォルテはひとつ。



595 【Seid um-】 子音の特性で“Fr-”というのは前に出せますよね、“Seid”も前どりができますよね。ところが破裂する子音だとできませんよね、“カ”とか“タ”とか。この特性を活かして“Seid”。プラスが鳴って“Seid”。
.....はい、肝心なのはその後の母音。自分が歌おうとするこのホールの空間に向かって“Seid”。

598 【o-nen!】 “o-nen!”は“オオ～ネェン”って言う人がひとりでもいたら、その音楽会は失敗。その“o-nen!”はスタッカートです。

600 【Kuß der】 “デェール”って言ってますか？“ディール”って言ってますか？いつの指揮者かに“ディール”って言い過ぎていると言われませんでした？言われたでしょ。伝わってるんです、僕んところ。ここは“der”ですよ。“dir”という単語があるんですよ。“おまえに”という。それと間違えるからみなさんは露骨に“ディール”って言い過ぎてるんです。もっとなまって。そういうの中間母音というんです。

.....男性、本番までに数は増えそう？例年よりは人の集まりが少ないというお話を聞いたので、「継続は力なり」と第九だよりにありましたが、数も力なんですよ。

600 【お話し】男性、本番までに数は増えそう？例年よりは人の集まりが少ないというお話を聞いたので、「継続は力なり」と第九だよりにありましたが、数も力なんですよ。...でね、第九の初演のとき何人でやったか知ってますか？みなさんの初演じゃないんだよ（笑）。ベートーベンの初演。

え、ここの初演、400人でやったの?!ここで?重なって歌ったの?刺身みたいに並んで(笑)。どうしたんですか、そのエネルギーは?その頃から出席率は悪かった?いやね、いろんなところに行ってここの出席率の話をするんです。よそに行くと驚きのなね。僕の合唱団、練馬区民合唱団、週に1回の練習で95%なんです。特に男性がいい。



前回の第九だよりを拝見して60数パーセント!...となるとね、指導的な立場の人が何かここで伝えると10人のうち6人しか聞いていないわけです。その次の練習のときに「あらぁ先週、言ったのに。」でもまたそこで入れ替わってるかもしれない。僕なんかそういうの慣れてるから、同じことをくどくど言ってるんです。だから100%出席していらっしゃる方は僕から同じ事を何度も聞いているんです。何度も聞いている人にはごめんね、全部の人にいきわたらせるために、僕は同じことを何度も繰り返していますから。僕とみなさんの我慢比べですよ。僕は今年9月からフォーレのレクイエムというのも全然別の組織で始まったんですよ。そこは300人応募があって、練習場のキャパシティの関係で230人であとはお断りしたんです。その230人で1月に向けて練習しているんです。そこも出席率がすごくいいのね。是非、どなたか古い仲間とか引っ張ってきて、12月にはいい音量で。人数が少なくて、ひとりひとりの人に「がんばって」と言うことはやさしいですよ。でも頑張らされちゃう方はこんな負担はないんですよ。だから気持ち良く歌うには、人がたくさんいて。ベートーベンの第九の初演のときは100人だったそうです。“ハーレルヤ...”のメサイア、ヘンデルが指揮したときは40人だったそうです。それは昔はこんな広い会場はないし、オーケストラも編制が小さかった、いろんなことがコンパクトだったからです。今はこんなデカイホールでね、歌うわけですから、それだけの人は是非集めないといけません。お仲間、つれてきて!11月に次回来るときには5割増しぐらいになっているように。...これね、一番いいのは、みなさんの1本釣りね。ひとりひとりがお誘いするのが一番いい。

601 【gan-zen】 ここ、あまり教養を感じない。なんかばかばかしく聞こえる。もっとハートの平衡感覚を失わないように歌ってください。なんか日ごろの恨みつらみを全部ぶちまけちゃってるみたい(笑)。...さぁ今の皮肉でどれぐらい変わるか?

602 【Welt!】 “ベェ...”ってみんなでプレスがなくなっている。音符を見てください。次の女性のパートとの間に隙間がありますか?みなさん、とつてもはやくやめてらっしゃる。やめたいからじゃなくて、やめざるを得ない(笑)。“gan-zen...あれ?ない...”じゃなくて、頭すみからすみまで働かせて「俺は“Welt!”までちゃんと歌うんだぞ」と思って“gan-zen”を出して。



611 【Brü-der!~】 あのねえ、ここもちょっとね、いけないところなんです。“Brü-der!”はものすごく頑張ってるんですが、次の“ü-berm”になったらパスの人はあんまり出せないでしょ。だか

ら止めてらっしゃるか、口パクだか、裏声になってる。音が希薄になってる。それがバレバレなの、今。

611 【Brü-der!】 “-der!” が遅れている。オーケストラの人、困りますよ。こういう時、伴奏を見てください。伴奏の音と同じじゃないですか。だからプラス吹いてる人が指揮者に「先生、指揮に合わせますか、コーラスに合わせますか？」（笑）。当然指揮者はこう言うんです。「今は僕に合わせてください。本番はコーラスに合わせてください」（笑）。“-der” の場所は正確に。

614 【zelt】 そこ、音いっぱいまで。これは（611から）どこかでプレスする人がいてもかまいません。でもみんなで同じところでプレスしないように。

615 【muß ein】 もっと“m”を言って。mをたくさん言って、ディフォルメして。
.....もっと力強く、サボらないで。

616 【lie-ber ~】 男性の方、ほとんどが“lie-ber...Vater”とプレスしています。“lie-ber Vater”（愛すべきお父さん）。ゼウスのことね。形容詞と名詞とつながっているんです。だからこの間で息を吸わないように。苦しい人は、この前後でどこか人が吸わなそうなところで吸って。今、まとめてそこで吸ってるから、みっともない。

618 【woh-nen.】 “woh”と“nen”は、そんなに続けない。“ヴォ～オオネェ～ン”なんてやらないで。それは規則違反。



619 【Brü--der!】 ほら、いまのほとんど“ウ”ですよ。どこまでいっても“ü”。次の音にいったときに“ウ～”は無し。

619 【Brü--der!】 “-der!” の場所、みなさんで正確に。



631 【Ihr_ stürzt】 cresc. はしていただいたんだけど、引いて（decresc.）してください。

632 【nie-der,】 “nie-der,” って、“エ”の発音をするとき、もっと顎を開いて。

635 【Ah-nest】 cresc.

638 【Welt?】 これじゃズボンのベルトだ（笑）。“べ～”じゃダメ。さっき言った前から発音のできる子音と瞬間の子音と分けましたね。“ABC”の“B”は前に持ってこれないんですよ。この“W”は前に持ってこれるんです。“B”にならないように。



- 654 【woh--nen.】客席で歌ってたときのほうが音程が良かった。あっちで寝るのを忘れていたんだけど、いつも第1回目に僕が来るときに比べれば音程がいいね...って言おうと思ったのね。言わなくて良かった(笑)。今、テノール、バテちゃった。
- 654 【お話し】僕が発音をあきらめたところを申し上げたけど、いくつか“E-ly-si-um,”とか“der”とか“Che-rub”とかね。せめてそこを直っててください。それからもうひとつの宿題は、二人に一人ぐらいは連れてくること(笑)。お願いします。
- 655 【Seid_um--】その時ね、抑圧されたものがはじけて出るんだけど、男性が“Ja,”って出るような部分がありましたよね。そのような出方です。アルトがソプラノの役割をしたように明るく出ないで。どっしり下半身を構えているという感じ。
.....もっと爆発して。この前は“空の上に神様が住んでいるに違いない...”って部分で、ここから現実に戻ってどっしりと下半身で歌って。

前回の“ひとこと”

長井先生の発声講座に第九指導、とても楽しく学ばせていただきました。(ちよん)

長井先生、遠いところよりわざわざお越しいただきまして、ありがとうございました。とても楽しくためになる練習ができました。(エルニヤンのママ)

のどを健康に維持するために、毎日うがいしまくりです。(山)

疲れた。次回がんばろう。

今日は長井先生のレッスンでしたが、とても楽しくてわかりやすく為になることをいっぱい教えていただきました。本当にありがとうございました。遠い所を御来延いただいて本当に頭が下がります。(ラララ・キッコちゃん)

長井先生の第九、やっぱりすばらしい指導です。あらためて勉強になりました。

長井先生の指導はとってもわかりやすくて的確です。さすがです。今日の指導を忘れず本番にもっていきます。(セ口弾きのゴーシュ)

午前の発声講座に午後の第九、とてもためになりました。

高音があまりさがらなかったように思いました。全力をつくしたという感じです。(You-You)

出席率の話は耳が痛いなあ。今回は遅刻せずにきます。(わんころちゃん)

午前中の長井先生のレッスン、とてもためになりました。午後...自分の発音がいかにまちがいであったか、よくわかりました。う~ん。むずかしい。がんばります!!

午前中の発声講座にこれなかったのがとても残念でした。次回はぜひ参加したいと思います。(S.N.)

秋日和、体育大会、その他の行事が重なるときになりました。長井先生のご指導で、やはり大きなうねりになります。ありがとうございました。

今日の練習をきもに命じてがんばるぞ。(おくまちゃん)

ご指導、ありがとうございました

た。次回までさらに言葉(発音)に注意したいと思います。

“ウズメ”を観に来てくださった方々、どうもありがとうございました。...と前回書きたかったのですが、体育祭の予行で来られませんでした。ウズメで得たことを第九にも活かせるように頑張ります。(梨)

とても素晴らしいご指導でした。忘れないようにします。(櫻子)

今日は午前中から参加しました。少しでも声が出るようにと早起して体調を整えて来たつもりですが、本当にその価値のある講義でした。もっとたくさんの方が来られると良かったですね...

長井先生、毎年のことながら、解りやすいご指導、有り難うございました。(森アンドレ)

発音に気を付けて歌いたいと思いました。長井先生の厳しい指導が身にしみました。(Run)

長井先生のお話、とても勉強になりました。次回は今日注意され

た所がほめられる様、練習してきます!!

有意義な長井先生のご指導、とてもよかったです。出世率を上げて頑張らなくちゃ!よりよい第九にしましょう!(スピカ)

何だか毎日忙しすぎて、アツという間の夏期でした。(チーママ)

ウズメが終わってこれがrはいよいよ第九に本腰を入れられます。今日は風邪気味で頭痛はするし鼻が出て、めちゃめちゃ体調悪いけど、がんばります。久しぶりなので...(TOM)

高い音が全然でないです。がんばります。(おJ蔵さん)

相変わらず発音が問題!

とても有意義な3時間でした。長井先生のご指導はどれも納得のいくものばかり。また気持ちを新たに頑張ります。

先週より声が出ました。本番の事を考えると不安です。今日は疲れませんでした。(楽しかったです)(やさしいサッチー)

運動会のシーズンになりましたね。そのほかいろいろ遊びのシーズン。たくさん食べてよく遊びましょう。(ねずみバーバ)

発音がやはりむずかしいですね。一人一人の発音が大事なことがよく解りました。長井先生のご指導、よく解りました。(日向キルトママ)

疲れました

午前中の発声指導に続き第九、午前中のことを思い出しながら何とかいかそうと努力に努力。頑張るぞ...

とても勉強になりました。長井先生、ありがとうございました。(たみちゃん)

長井先生の練習、良かった~! 同じ事を言われててもつい忘れてしまう。普段の心がけ(練習)で

すね。(Emily)

今日は一日声を出して疲れしました。でも午前中は非常に勉強になりました。

いつも言われている事を言われてしまったなと気をつけているつもりなのですが、腹筋を頑張らなくてとはひしひしと感じました。

長井先生の指導、大変勉強になりました。有り難うございました。

発音のチェックがとても勉強になりました。午前中の発声講座もとてもよかったです。出席者が少なく、もったいないと思った。(ヨッチン)

今日、一日、長井先生のご指導、楽しかったです。

毎年、同じ注意を受けるのにと反省しきり。長井先生のお顔をみると、心地よい緊張。張り切ってしまう。(ドウリンク)

有意義な時を。今日は感謝して昨夜ロブスター、今日10時からつづけての長井先生のご指導に心から感謝します。(Hamu-Star)

長井先生の前では、ただひたすらにお顔を見ていました。いけませんわね。(ミツちゃあ~ん)

長井先生の素晴らしいご指導、大変良く分かり楽しく歌うことができました。

長井先生の指導、10時からの声学、第九の人全員で受けたかったと思いました。第九でお友達になり、今年お休みしている人にぜひお声をかけて一人が一人を増やすようにがんばりましょう。(ドリーム)

長井先生の指導、大変ためになりました。深謝!

久しぶりに長井先生の指導、気合いが入りました。

今日は仕事を抜け出して出席しました。毎回ためになる長井先生

の指導日を無駄にしたくないので。またこの後、会社に行ってきます。

きびしー

発声練習に遅れてきました。日ごろから声を出さねばなりません。実りの秋が近づいて来ました。稲も黄色くなりますよ。(ヒロー)

練習不足を反省しています。

毎年同じ事のくり返し。一回頭に入ると本当に切り替えがむずかしいものです。(でべそ)

テノールだけで歌うときは少しテレます。もう少しうまくならないといけません。(ねこぶんじゃった)

葬式、遠征、夏休みとブランクが大きく、のどのサボりがたえています。長井先生に会わせる顔ならぬ声がありません。誠に申し訳ない。(タマ)

長井先生のご指摘はすべてなるほどとうなづける。しかし歌ってみるとなかなか出ないのが残念。たしかにあのとおりにいけば素晴らしい第九になるだとうなあと考えた。できるだけ近づけるようにがんばらねば。(Mr.Red)

ノドが不調。咳が出てきつかった。先生の指導は良くわかった。(HK)

長井先生の指導を受けて、ようやく声が出てきたような感じがした。(グリーンヒル)

長井先生のご指導を夕べのロブスターに引き続いて楽しいまた緊張したひとときを味わうことができました。多少の緊張は体に良いです。(T)

疲れたが、良かった。(がみchan)

午前中、長井先生の発声講座を受講して、歌う楽しさを再認識しました。(九歌狂)

編集後記

次回は10月6日(土) 19:00~21:30

毎回テープ起こしをしていますが、今回の長井先生のご指摘は“きびしい”ものがありましたね。

昨年の大きな目標をクリアしたためか、「今年は客席で...」とお考えのメンバーもいるんだと思います。ですが、この陣容では“ひとり10枚ぐらい”チケットを売らねばならないかもしれません。

第九の練習も佳境に入りましたが、もうそろそろチケットのほうも...【munenori@horita.jp】